

## 御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時 令和4年3月23日(水)  
午後4時00分から  
場所 御宿町役場202会議室

(事務局)

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。  
ただいまより、御宿町教育施設検討委員会を開催いたします。  
はじめに、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

(町長)

みなさまこんにちは。本日は、お忙しい中お寒い中、教育施設検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。年度末となりまして、間もなく令和4年度を迎えますが、皆様方には日頃より学校教育また、教育行政に多大なるご協力をいただいておりますことに、心から御礼申し上げます。

本日お集まりいただきましたのは、これからの御宿小学校について、皆様方をはじめ、PTAの皆様、各行政区の皆様、地域の皆様から広くご意見ご要望をいただきたいと考えております。

御宿小学校につきましては、昭和42年、1967年に建設されまして、今年で築55年となります。平成19年に耐震工事を行いまして、平成20年に大規模改修を行っております。通例ですと、コンクリート構造物の耐久性は、60年といわれておりますので、令和9年度が施設の耐用年数となります。そのようなことで、令和7年度を目標に計画の実施に入ることができればと考えております、計画の実施ということは、これからの方向性方針を固めていきますが工事の実施ということで考えていただければと思います。

御宿小学校におきましては、近年老朽化が進んでおりまして、学校給食共同調理場の対策と、エアコンの設置、トイレの改修など、なかなか早急な対応ができずにご不便をおかけいたしました。行政といたしまして、皆様方のご意見をいただきながらよりよい教育環境の整備に努めさせていただいたと考えております。

昨年の9月の定例議会におきまして、議員の皆様から、御宿小学校の今後の整備方針について一般質問をいただきました。整備方針につきましては、できるだけ早く、できることなら令和4年度を目標に方針を定めていきたいとお答えいたしました。

冒頭に申し上げました通り、皆様方をはじめ、多くの町民の皆様のご意見を

伺いながら、周知を進めつつ、方向を定めてまいりたいと考えております。

本日の会議は、これからの協議にむけての、初めての会議であるのご認識いただければ幸いです。日頃、皆様方のご指導ご協力に感謝申し上げます。本日はよろしくお願いたします。

(事務局)

本日は、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第3条に基づきまして、委員の皆様を委嘱させていただきました。

議会からは、代表3名を、教育団体の代表といたしまして、教育委員会の教育長職務代理から1名、各学校からは校長3名、保護者代表としまして、PTA愛護会の会長さんを委嘱させていただきました。

紹介につきましては、座席表に代えさせていただきますので、よろしくお願いたします。

(事務局)

続きまして、委員長を選出をお願いいたします。

御宿町教育施設検討委員会設置要綱第5条により、互選にて選出をお願いいたします。副委員長につきましては、前回の会議で北村委員が選出されております。前回の委員長につきましては、御宿町教育委員会教育長職務代理者となっておりました。互選ということでしょうか。

(浅野委員)

職務代理者をお願いできればと思います。

(事務局)

三上委員という声がありました、委員長お願いできますでしょうか。

それでは、選出されました三上委員、委員長席に移っていただきましてごあいさつをよろしくお願いたします。

(委員長)

委員長ということでご紹介いただきました。教育委員会の三上と申します。

4年ほど前まで、御宿小学校の方で勤務させていただいておりました。大役ということで、緊張しておりますが、会の運営、振興を進めてまいりますのでよろしくお願いたします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここから委員長に議事進行をお願いしたいと存じます。

委員長席をお願いいたします。

(委員長)

議題（１）御宿小学校について教育課長より説明をお願いします。

(教育課長)

今までの経緯説明

まず、昨年度から、本委員会の活動と、今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

昨年度は、御宿小学校にある共同調理場が施設老朽化に伴う閉鎖についてご審議をいただいたところでございます。その後、勝浦の学校給食共同調理場から給食を提供していただいております。御宿小学校御宿中学校には、勝浦市からの給食が提供されているところでございます。

また、本年度事業といたしまして、本年10月には、共同調理場を配膳室に改修工事を行っております。また、御宿中学校の手洗い場の自動水洗化工事、御宿小学校東側トイレのコロナ対策工事が完了したところでございます。

さて、年度末のお忙しい中、お集まりいただきましたのは、町長からもお話がございましたとおり、御宿小学校校舎が本年度で築54年を経過し、体育館は築51年となったところでございます。耐震改修はすんでおりますが、耐用年数は60年と言われ、現在も老朽化は進んでいるところでございます。御宿小学校の建設について令和4年度に方針がでて、令和9年3月までに更新完了のスケジュールでお話ございましたが、このことから、様々なご意見をいただきながら、御宿小学校の場所をどこにするのか、令和4年度を目標に協議を進めていくため、本日が第1回目ということでございます。本日の会議につきましても、年度末ではなく、もう少し早く実施を予定していたところですが、コロナの蔓延の状況により年度末となってしまいましたことを大変申し訳なく思っております。委員の皆様の中には、年度末や任期により現在の職を退任される予定の方もいらっしゃると思いますが、次の方に継続で引継ぎをお願いするための会議としても開催させていただいております。教育委員会といたしましては、現在の御宿小学校の場所が、お配りいたしましたハザードマップを見ただくとわかる通り、このハザードマップが延宝地震と元禄地震の津波の浸水区域が色分けされているところでございます。御宿小学校は、現在緑色で塗られております。1メートルから2メートルの、一階軒下までの浸水が予想

されているということで、津波被害を考慮しながら検討を進めていかななくてはならないというところもございます。しかしながら、御宿小学校が、五倫校の歴史そのものであり、地域のシンボリック的存在で愛着もあり、地域にあるのが当たり前の存在であるために建築場所の決定につきましても、地域の皆様にご意見をいただきながらきめていかなければならないと思っております。区長会をはじめ、地域のご意見をいただきながら検討を進めていきたいと思っております。

この委員会の進め方といたしましては、町内に小学校が建設できるだけの広さが確保できる場所を教育委員会の方で調査をさせていただきます。それをもとに、次回の委員会開催前に皆さんにその資料をお配りして、当日意見をお聞きするような形で、まず、御宿町にどういう広さの土地がどこにあり、どういう場所があるのかというのをお示しして、それから土地の選定の方向性を出していくような形で進めていければというところもでございます。地域の小学校でするので、手法も含め、区長会の意見につきましても、4月にすでに区長さんが更新で代わられるということもございますので、区長さんたちにはこのことを説明させていただいて、地域の意見をどう聞いていこうかというお話を進めさせていただきながら、こちらの会議は、こちらがお示しした資料を基にいろいろなご意見を求めていきながら進めていきたいと思っております。その後進捗状況につきましても、ご報告させていただきながら進めていこうと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

以上でございます。

(委員長)

今、課長からご説明がありました通り、築55年、耐用年数も近いということでの計画を話されました。令和9年度には完成ということで、令和4年度中には方向性を決めていきたいということもございました。

今回の第1回目は令和4年度に向けての会議ということもでございます。

皆様今の仕事とは変わってまいりますので、今課長さんからご説明ありましたことについて、ご質問ございますか。

(北村委員)

今後の進め方、地域の声を聴きながらということ伺いましたが、議題は御宿小学校についてということで、今後の候補地になりうるような広さの候補地をお示しいただくということですが、昨年秋に紛糾しましたが布施小のことについても切り離しては考えづらいとは思いますが、本当に難しい話にはなるかと思いますが、我々が考えていく指針みたいなものがあれば教えてください。

(教育課長)

あくまでも御宿小学校の老朽化に伴っての建築をしなければならないという方向は、ここで施設の検討ということで、お話し合いをしてもらうような形です。布施小学校の話は、一緒にするというのではなく、布施小学校はそちらで話し合いをしなければならないようになっていっていますので、時期が一緒になったということもあるかと思えますので、ここでの会議は校舎の建築についてのお話をするということを考えています。

(委員長)

あくまでも御宿小学校の校舎の移転でこの会議を進めていきたいということです。

他にございますでしょうか。

次年度第1回目は早めに行うということですか？

(教育課長)

P T Aの役員が決まるのが5月だと思いますので、P T Aの新しい役員の方に次の2回目は参加していただくということになると思います。区長さんたちには、4月に変わられますので、地域への投げかけは4月からできるのですが、その間に、学校をとりまとめてくださいということがなかなか難しいだろうと想定はしていますので、6月くらいが最初なのかなと考えております。場所の選定の資料作りなどもありますので、それを含めて6月くらいになるかと思えます。

(引地委員)

学校の規模というのは計画がでていますか。例えば家庭数や将来的な児童数など具体的に試算して、ある程度の規模が計画としてでているのですか。

(教育課長)

規模の前に、場所の選定がないとと考えてています。

(佐藤委員)

それはわかりますが、場所の選定するにしてもその規模だとか計画がないと、狭いところに上にあげるのかとか、そういう考えによって変えていくということですか。例えば土地が狭いところしかなければ、校舎を上には伸ばすという考えはあるんですか。

(教育課長)

そういう部分も含めて場所が決まらないことには決まらないんですけど、うちの方で児童の想定をしているのがこれから先1学年1クラスになっていくであろうと想定はしていますが、その中でこのくらいあれば大丈夫であろう規模の土地を皆様にお示ししようと思っております。

(佐藤委員)

布施小学校の問題は、分けて考えますということでしたが、町の問題として布施も御宿町ですよ。その児童数や家庭数もしっかりいれて考えているのかと思ったのでちょっと質問させていただきました。

(引地委員)

別々に考えるのではなくて、一緒に考えた方がいいんじゃないでしょうか。別々で考えると進め方はいいのかもしれないけど、あとあとのことはどうなるんですか。

(教育課長)

布施小と別々で考えるというのは、両方とも合わせても一クラスなんですよ。

(引地委員)

布施も合わせた試算がしてあれば私の質問はそこまでです。

(教育課長)

両方ともというよりは、施設の検討をしないことには、御宿小学校自体がすでに建て替えを迫られているといったところ、待たなしというところなんです。布施については今後の話し合いを持つ予定ですので、うまく話がすりあっていくようであれば、布施小もそうなりますよという話ができる部分ですけど、まだ想定ができない中で、一緒にやりましょうというところになかなかならないので、御小はこれでやらないことには、そういう話にも答えていけなくなる。ということで、施設の更新については、単独で考えていくというお話にしたいというところです。

(佐藤委員)

布施の方なんですけれども、不安だらけではないわけですか。一度こうなってしまった以上。今回御宿小の方で考えていっても、その時にこちらの話

も一緒に入れてもらえないかということも出てくると思うんです。今の話だと違うことだということかもしれないですけど。

(教育課長)

今PTA会長さんに出てきていただいているのは、意見を言える場所を作るために入ってきていただいているわけです。用意してるということは、今回、布施小はもともと御宿小学校の建て替えには、入っていなかった委員さんですが、今回は、そういう部分を含めて意見を言える場所に入ってきているということですが、意見はどんどん言っていただいても構わないです。ただ、施設は施設として考えていかななくてはならない。規模の話からすれば、布施小全体が入っても大丈夫な施設を考えているというところではあります。

(委員長)

先行きが見えないところで話をするというのは難しいことだと思うんですけども、布施小学校も教育委員会の方でも考慮に入れているというところでお返しいただきたい。

(佐久間委員)

念頭にあるということは、よくわかります。土地のことを出すときに、布施を含めた御宿町の児童数を年代別に出していただけるとそこをもとに議論できると思います。生まれた子たちの数はわかると思うので、何年度の学区のかずということで、それを示していただくとわかりやすいと思いますがお願いできますでしょうか。

(佐藤委員)

最低限の建物の大きさとか、グラウンドや体育館がわかってきて、平らな土地でどのくらいだとか具体的に出ていると思うんですね。それに対して、どこ土地があるのか探して、予算がいくらかかるのかならわかると思います。会社でもそうですが、新規事業計画書を立ててプレゼンしますからそれでいくら儲かると。この場合は儲かるではないですが、どういうふうになるのか。それを通してスタートするわけですね。土地を探すという、どれくらいの大きさなのか、どんな規模なのかそこからなんじゃないですか。生徒数もきまってくるなら。そう思います。

(委員長)

他にご意見ございますか。

(北村委員)

布施小の話が出ました。保護者同士の話の中では、御宿中との合同とか、図書館がないので、図書館と学校施設を一緒にできたらいいね。などの声があるんですね。その辺の可能性も含めてお話をしていくと更に要素が増えていってしまうということが一点。児童数に関しても、これからまた時代が変わり、1学年1クラスでは収まらず、2クラスの可能性もある。今計算できている5年先、10年先、さらに先まで考え、建築のことはわかりませんが1クラスを見込むのか2クラスを見込むのか、建設費はいくら違うのかなど色んなことが考えられますが、今は委員会のメンバーだけですが、地域に出たらもっと色んな意見が出てくる可能性がある。そのような意見を聞きつつ、最終的には道筋をつけていくということは非常に難しいと思います。そこをどのようにまとめていくのかがポイントではないかと思うし、どうやって決めて行けばいいかも皆さんに伺いながら進めて必要があると思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

ここに委員の皆さんもそれぞれの立場で、現在参加していただいています。先ほど事務局からもお話がありましたとおり、地域の方や色んな立場の方からの意見をまずは広く集めることも大事なかなと思います。その辺については、令和4年度に入り、具体的に話が進む中でより良い方向に考えていければいいのかなと思っております。

(北村委員)

一旦町全体に投げて、色んな意見がある中で、それでなんとなく意見のグループ分けというか、最終的に2、3個の案にまとまって、例えばA・B・Cプランを作成し、メリット・デメリットなどがまとまって、そこからこれがいいかあれがいいかみたいな感じでまとまっていくと良いのかなと思います。何もなしでどうしたら良いか問われても収集つかなくなるのかなと思います。あとは、町長がいらっしゃるので、町長がこの町をどうしたいか町長の意見も示していただければまた少し違うのかなと、そういったことも時には必要なのかなと思っております。

(委員長)

他にございますか。

(佐藤委員)

具体的なスケジュールを決めていくということですね。何をいつまでにやるみたいなことを落としていかないと見えてこないなので、大まかなスケジュールでも出さないといけないと思います。

(委員長)

はい、それについては令和4年度に入り、事務局から考えがあると思います。

他にございますか。よろしいですか。

(委員) なし

(委員長)

それでは、貴重なご意見ありがとうございました。難しい問題ということもありますし、また期限も決まっていますが丁寧にやっていく必要はあるのかなと思います。

以上で議題について終了いたします。

(事務局)

それでは、以上をもちまして、御宿町教育施設検討委員会を終了します。  
ありがとうございました。